

経営比較分析表（令和5年度決算）

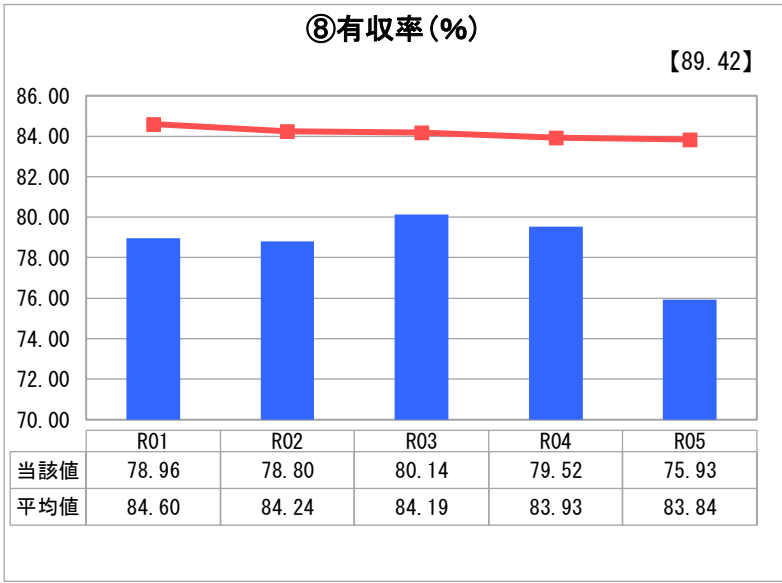
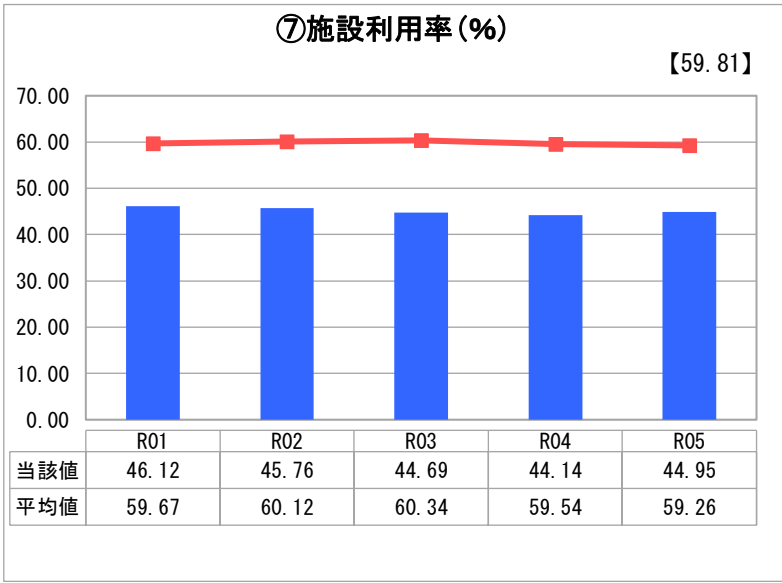
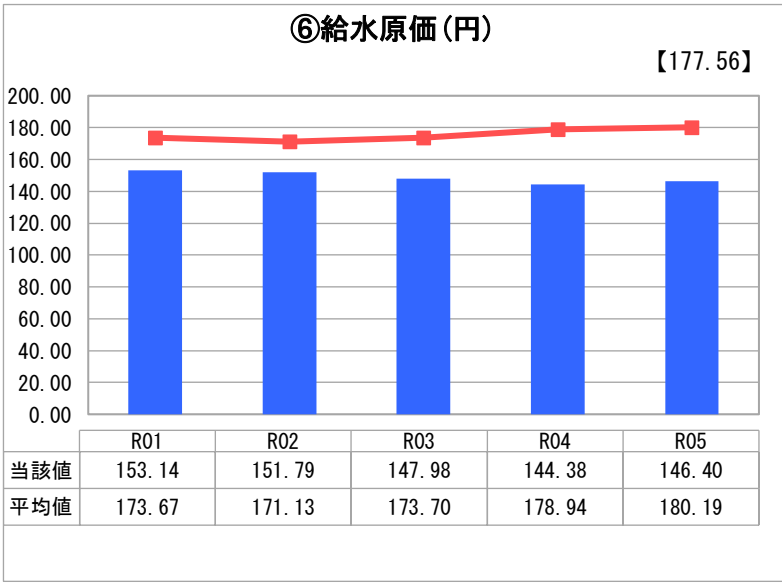
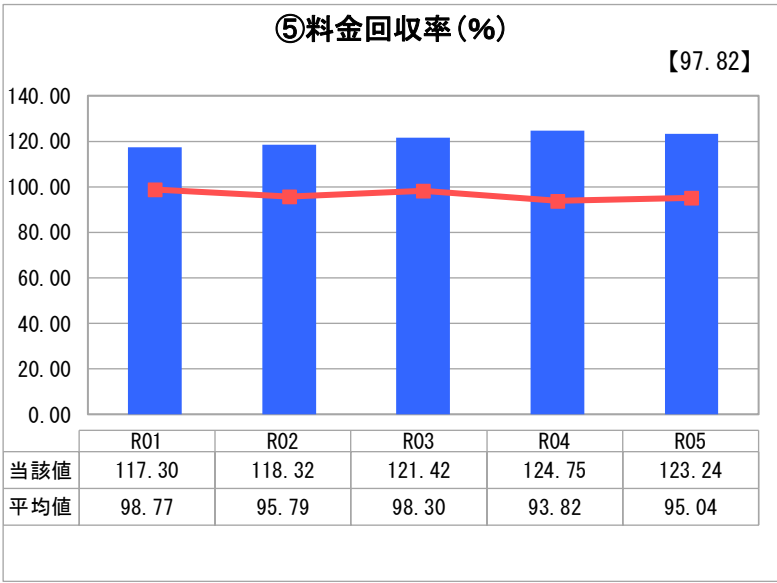
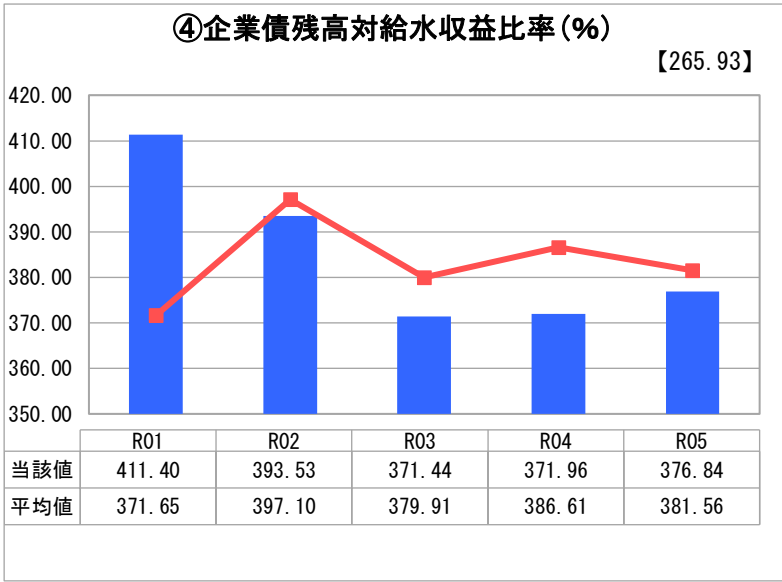
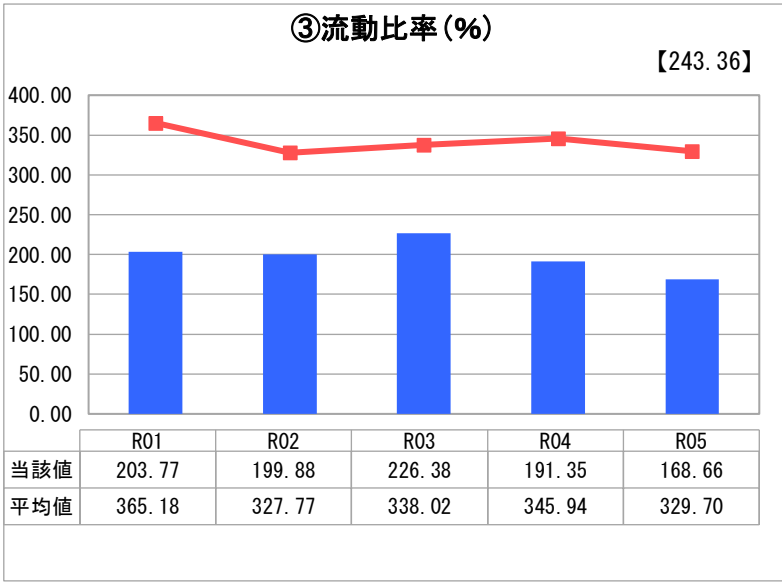
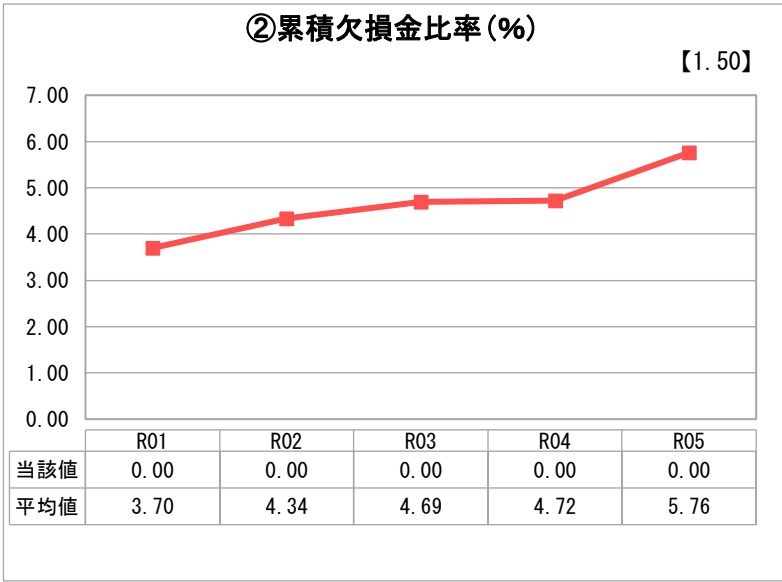
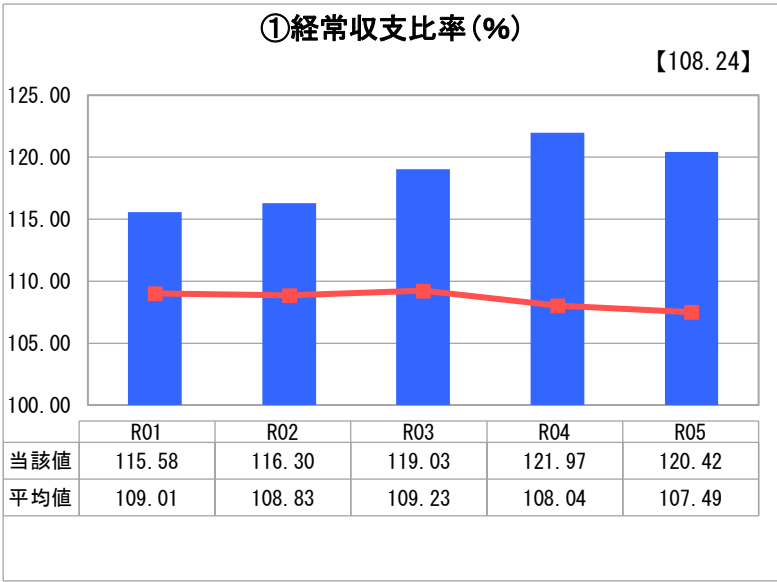
岐阜県 海津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	69.36	97.11	3,630	

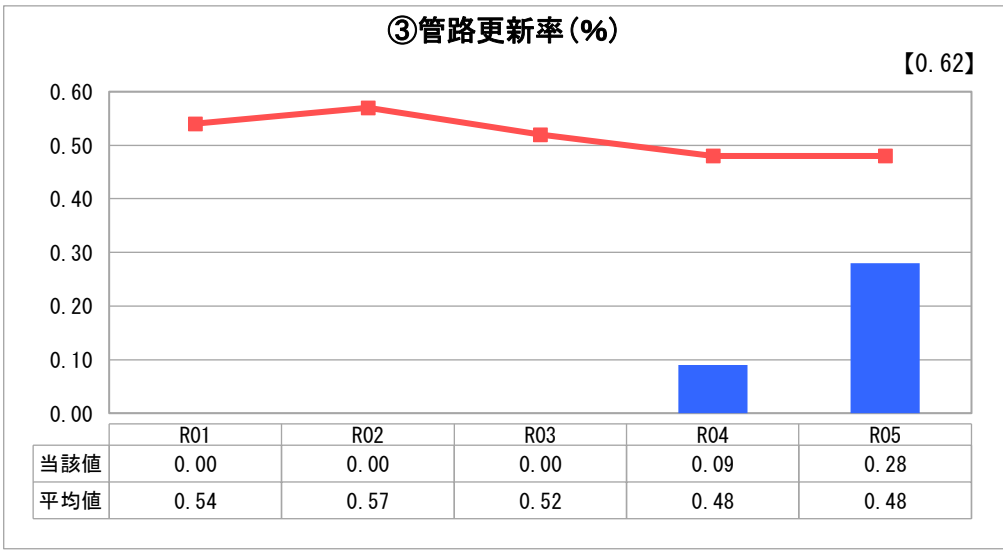
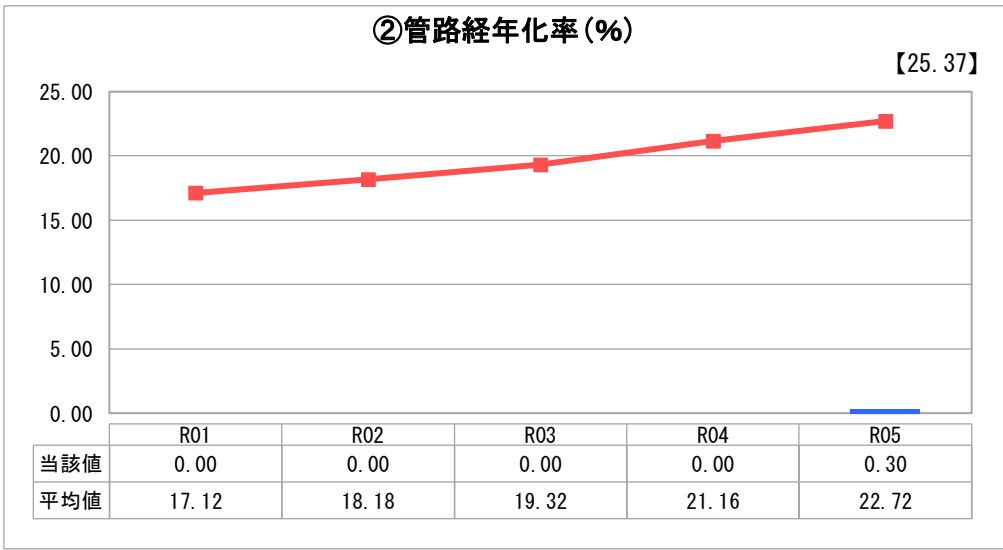
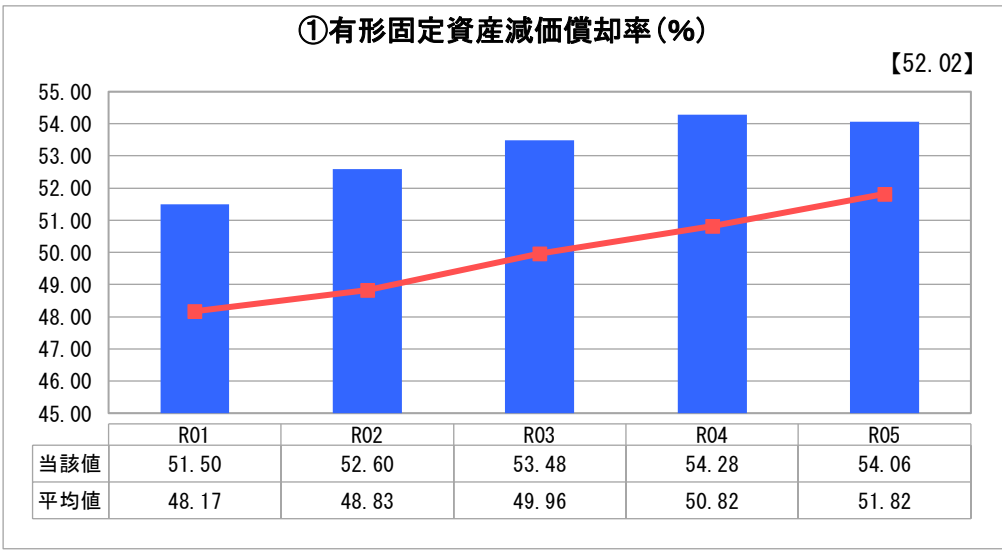
人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
32,084	112.03	286.39
現在給水人口（人）	給水区域面積（km ² ）	給水人口密度（人/km ² ）
30,896	71.47	432.29

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び料金回収率は100%以上を維持し費用は賄えているものの、給水収益は減少傾向にあり、令和5年度の比率はそれぞれ減少した。

給水原価、施設利用率、有収率は全国平均よりも低い水準で、給水人口の減少等による使用水量の減少や経年劣化による漏水の増加が数値を悪化させる要因となっており、漏水修繕等による有収率の向上が急務となっている。

企業債残高対給水収益比率は全国平均より高い水準にあり、収益の減少により令和5年度は増加となった。今後、施設の老朽化による改築・更新工事の実施による借入が見込まれるため、企業債の残高に留意しながら施設の更新等を実施していく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は上昇傾向で全国平均より高い水準にあり、施設・管路の耐用年数に近い資産が多い状態であることから、老朽化した基幹管路や漏水の多い管路を優先に耐震管への布設替を行い、施設の改築・更新を実施していく必要がある。

管路・施設の更新を実施するにあたり、上下水道耐震化計画、管路更新計画に基づき、更新時期の平準化や施設の長寿命化に努めながら、更新及び耐震補強を計画的に行う予定である。

全体総括

経営効率・財務の健全性は、現時点では概ね確保されているものの、給水収益は減少傾向にあり、管路・施設の更新需要も大きく、今後の経営を悪化させる懸念があることから、更なる経費節減や有収率の向上に努める。

持続可能な経営を図るため、人口、水需要の動向を注視しながら、施設規模・機能の見直しや平準的な施設更新の実施を検討し、経営戦略に基づき、計画的かつ効率的な経営に努めていく必要がある。